

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	尿路上皮癌
治療法	バベンチオ単独維持療法

	1
抗癌剤・商品名	バベンチオ
規格	200mg/10mL
一般名	アベルマブ
一日投与量(規定)	10mg/kg
患者情報から算出した一日投与量	500 mg
実際の投与量	500 mg
	10 mg/kg
投与日	day1
1クール期間	14日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日ICI施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	根治切除不能かつ1次化学療法後進行が認められていない尿路上皮癌
推奨経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
中止基準	投与前の好中球数:1000/mm ³ 未満、血小板数:50,000/mm ³ 未満 骨髓機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●バベンチオ</p> <p>重大 1.間質性肺疾患 2.膵炎 3.肝不全、肝機能障害、肝炎 4.大腸炎、重度の下痢 5.甲状腺機能障害 6.副腎機能障害 7.下垂体機能障害 8.1型糖尿病 9.心筋炎 10.神経障害 11.腎障害 12.infusion reaction 13.重症筋無力症</p> <p>その他 (5%以上)下痢、悪心、口内炎、嘔吐、疲労、悪寒、無力症、発熱、粘膜の炎症、食欲減退、体重減少、関節痛、筋肉痛、頭痛、味覚不全、発声障害、呼吸困難、手掌・足底発赤知覚不全症候群、そう痒症、発疹、皮膚乾燥、高血圧 (1~5%未満)血小板減少、貧血、好中球減少、駆出率減少、トロポニン増加、口内乾燥、便秘、腹痛、口腔内痛、消化不良、上腹部痛、鼓腸、胃食道逆流性疾患、腹部不快感、末梢性浮腫、インフルエンザ様疾患、胸痛、倦怠感、血中Al-P増加、血中甲状腺刺激ホルモン増加、高リパーゼ血症、高アマラーゼ血症、低リン酸血症、高トリグリセリド血症、低マグネシウム血症、低ナトリウム血症、高コレステロール血症、高尿酸血症、高血糖、低カリウム血症、脱水、血中クレアチンホスホキナーゼ増加、背部痛、四肢痛、筋骨格痛、浮動性めまい、味覚障害、錯感覚、嗜眠、蛋白尿、血中クレアチニン増加、咳嗽、鼻出血、口腔咽頭痛、鼻漏、斑状丘疹状皮疹、そう痒性皮疹、紅斑、脱毛症、ざ瘡様皮膚炎、過角化、皮膚炎、蕁麻疹</p>
備考	

バベンチオ単独維持療法 観察記録

所要時間:約1時間30分

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: バベンチオ (mg) 一般名(アベルマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食100mL		ルートキープ用	
		カロナール錠(500mg) 1錠	バベンチオ投与30分前に内服	
		ポラミン1A	バベンチオ投与30分前に静注	
		生食250mL+バベンチオ	60分かけて点滴【 250 mL/h】 ※ フィルター付き 点滴ラインで投与	
本体終了後抜去				

アクシデント
(過敏反応、不整脈、血管外漏出等)

お薬手帳



※身長160cm 体重50kg 体表面積1.5m²の患者さんの場合の
1日治療に掛かる抗がん剤薬価(day1のみ)
○バベンチオ:588,867円